

～第22回日本認知症ケア学会大会での発表について～

ベネッセ シニア・介護研究所「外国人介護人材の受入れ」と「認知症ケアメソッドの活用」について発表

株式会社ベネッセスタイルケアの社内シンクタンクであるベネッセ シニア・介護研究所は、2021年6月5日～10月5日に Web 開催された第22回日本認知症ケア学会大会において、以下2件の発表をいたしました。

- 外国人介護士受入れ施設への配属前調査と取組への反映 – 関係者の不安・期待に寄りそう受け入れを目指して – (林奈実他)
- 「認知症ケアメソッド」の活用と認知症ケアにおける意識・行動の関係 (福田亮子他)

また、弊社ホームからも以下7件の発表を行っております。

- 一緒に行動する – その方の思いを知ることがケアの第1歩 – (メディカル・リハビリホームボンセジュール草加)
- 疑似体験を通してその方に寄り添うケア – 100歳の心を覗いてみて – (まどか長町)
- 『やりたい×できる』の積み重ね – 皆で“思うがまま”を叶えるチームケア –
(リハビリホームグランダ甲子園式番館)
- 安眠への挑戦 – 眠りSCANの活用とその成果 – (アリア碑文谷)
- フレームワークに基づくチームケアの実践の効果 – 関わることを好きでいることの大切さ –
(メディカル・リハビリホームボンセジュール秦野渋沢)
- 想いをスタッフに繋ぐ、わんエピソード (メディカルホームグランダ狛江参番館)
- 喜びのある瞬間が導く自分らしさの実現 (まどか東伏見)